

令和4年度 地区懇談会
(富岸地区、新生地区) 議事録 (概要)

令和4年10月18日(火) 18:00~19:25

富岸小学校体育館 出席者25名

4 市からの情報提供事項：北海道太平洋沿岸における津波被害想定について

意見：

- ・富岸地区は亀田記念公園が避難場所になっているが、冬季の場合は管理棟の解錠を早急に行い屋内で暖を取らなければ生死に関わるため、町内会などの地域に管理棟の合鍵を預けることや、避難者が暖を取れるような対策を検討してほしい。

回答：総務部

- ・積雪・寒冷地域における防寒対策が非常に重要であることを理解している。避難場所での防寒対策として、毛布やストーブなどの備蓄や、国の対策などを踏まえながら早急に検討を進めてまいりたいと考えている。

質問：

- ・「命てんでんこ」という言葉があるが、新生地区には身体が不自由で誰かの支援がなければ避難することができない方が80名近くいる。そのような方々の避難に対する対策はないのだろうか。

回答：総務部

- ・現在、要配慮者に対する個別避難計画というものに着手している。避難に支援が必要な方々が、どのような方にどのような支援をいただき避難するのかを計画しているところだが、一人一人状況が違うため、必ず支援を受けられる体制は難しいところがある。
- ・地域の皆さんにも相談させていただきながら作成していきたいと考えている。今ちょうど着手したところであるため、具体的な内容や方法については、来年度以降に示すことができると考えている。

5 市役所新庁舎の建設及び現庁舎の跡地利用について

意見：

- ・現庁舎の跡地利用について、公営住宅の誘致や老朽化による新築移転なども選択肢に加えてほしい。宿泊施設といっても来るのは市外の人。定住政策で若い人を増やす、人口を増やすといった場合、結論を言えば公営住宅の建設も選択肢の一つと思うので検討していただきたい。

回答：総務部

- ・現庁舎の跡地利用はこれから本格的に検討を進めるため、市民の皆さんからさまざまな意見をいただきたい。多くの人に登別市に住んでいただけるよう、現庁舎の跡地利用というのは重要な検討課題であると認識している。今後もご意見をお願いしたい。

質問：

- ・市役所新庁舎の屋上の利用について、太陽光発電やガラスでの採光とあるが日々のメンテナンスはどのように行うのか。
- ・太陽光発電の蓄電量はどのくらいで、避難所として機能する場合に何人が何日利用できるのか。

回答：総務部

- ・市役所新庁舎について、72時間稼働可能な非常用発電機を整備することとしている。
- ・蓄電池の容量や太陽光発電、もしくは光を取り込むための窓の維持管理について、現在検討を進めているところ。積雪や日射量の観点から、設置するパネルの角度などを総合的に判断し、国の制度なども活用しながら検討を進める。

6 登別市・白老町 令和12年度以降のごみ処理施設について

質問：

- ・プラスチックごみの分別について、プラスチックのないごみを燃やす場合に炉へダメージはないのか。
- ・プラスチックごみは普通のごみ袋に入れても良いのか。

回答：市民生活部

- ・専門のコンサルタント業者に検討していただいた中で、プラスチックごみを排除しても炉への影響はないとのこと。
- ・プラスチックごみを分別したとき、普通のごみ袋にできるかは未定。ただ、ごみ袋を現在の可燃ごみと同じ値段では変化がなく、分別は進まないと考えているため、普通のごみ袋、もしくは安値での有料化などを検討し、分別していただいた市民の方に還元できるよう進める考え。

意見：

- ・プラスチックごみの分別には協力するが、分別には市民の方が分別のマナーを守ることが大前提であると思う。ごみステーションの管理を町内会が行っており、分別のマナーを守れない方がいて、町内会が大変な思いをしているのが実情である。
- ・今まで登別市はごみの分別の種類が一番少なく、市民に非常に優しいまちだという認識がある。

- ・町内会は、分別のマナーを守れない市民に指導することはできないため、市が市民に対しごみの分別の指導やごみ分別辞典の再配布などを行ってほしい。

回答：市民生活部

- ・町内会のご苦勞は重々承知している。ごみの分別をするためには周知が一番大事なことだと理解しており、ごみの分別のマナーや理解を進めるような方策を今後も力を入れていきたいと思っている。

7 地域の共通課題についての懇談：富岸小学校の付近に「児童館」をつくってほしい

質問：

- ・富岸地区と周辺には、小学校、中学校、高等学校や職業訓練校など文教施設が多く、児童数も非常に多い地域である。
- ・富岸青少年会館が廃止され、国道側にある富浜児童館は老朽化が進み、富岸小学校の周辺には児童館が無い状況であるため、富岸小学校の近くに児童館をつくってほしい。

回答：保健福祉部

- ・富岸小学校は市内でも児童数が大変多い地域であるため、子育てに優しいまちづくりを進める上では、子育て支援施設が必要である地域だと考えている。
- ・新たな児童館を建設する場合には、放課後児童クラブも含め、小学校区に一つ設置することを基本に、学校内、学校敷地内、学校周辺地などを候補に子どもたちが安全に安心して利用できる環境を構築したいと考えている。
- ・現在、市では大型の公共施設の建設が控えている状況にあり、限られた財源を計画的に活用していく必要があると思っている。具体的な建設時期を申し上げるのは難しいが、関係部局と引き続き協議を進めていきたいと考えている。

意見：

- ・小学校近隣に児童館をという話があったので、早急にすぐつくれということは、市の財政状況を考えたら無理にとは言えず、将来的に児童数が多い地域にはやはり児童館が必要できないかということで今回提起した。

7 地域の共通課題についての懇談：

国道36号線からJR室蘭本線を跨ぐ立体交差橋の早期建設を要望する

質問：

- ・この課題は、富岸地区連合町内会として長年の要望事項である。
- ・登別市都市計画マスタープランで鷺別地域の鉄道横断立体交差について検討するという記載があった。富岸地域についても、跨線橋などの線路を渡るときめき橋のような橋がないため、早期建設の実現を要望する。

回答：都市整備部

- ・道路ネットワークの観点、そして津波災害時の避難路として寄与することなどから、その必要性は十分認識している。
- ・鉄道横断立体交差橋の建設には多額の費用を要することから、市が事業主体となって整備を行うことは非常に難しい。
- ・ときめき橋は市道認定されていたところを道道に昇格してもらい、北海道で事業を実施した経緯があり、今回の立体交差橋の建設に関しても、北海道あるいは国の力を借りなければならぬと考えている。
- ・長年の市としての懸念事項ということで、平成25年度から北海道あるいは国に対する要望の機会があるごとに、その旨活動を行ってきた。引き続き要望活動を続けたいと思っている。

意見：

- ・何年も掛かると思うが、早い実現を目指して要望をしていかないと国にも道にも動いていただけないと思うので、一生懸命頑張って要望していただきたい。

7 地域の共通課題についての懇談：スケートボードの遊び場の設置を要望する

質問：

- ・新生地区には「ことぶき公園」があり、その公園の周りの道路が舗装されているため、スケートボードで遊ぶ子どもたちが多くいる。
- ・事故を未然に防ぐため、善意の気持ちで地域の方が小・中学校に連絡を入れ、学校では生徒に注意を行っている状況である。
- ・身近な公園にスケートボードで安全に遊べる場所があっても良いのではないか。

回答：都市整備部

- ・お話しにあった身近にある公園は街区公園といい、この街区公園にスケートボードで遊べるスペースを確保するとすれば、他の利用者と輻輳することが予想されるため、安全上の観点から専用スペースを確保する必要がある。
- ・街区公園は多くの地域の皆さんが利用することを目的としているため、専用スペースを確保するとすれば、公園利用に制限を設けたり、人の集まり具合によっては昼夜を問わず騒がしくなったりすることが考えられる。
- ・また、転倒や他の利用者との衝突など怪我の可能性を考えると管理上の問題もあり、施設整備の内容や利用ルールを慎重に判断する必要がある。
- ・以上のことを踏まえ、現時点では街区公園の一部を利用しての整備は難しい。

意見：

- ・以前の議会でこの話が出ているようで、議会だよりにも載っていたが、今、総合体育館の横に試験的に場所がつくられている。私はその場所で遊んでいる子どもたちを見たことは

ないが、車で行かないと遊べない状況にあるのではないか。

- ・新生地区連合町内会の中では、市役所現庁舎の跡地にスケートボード専用の場所をつくったらどうかという話もあったが、やはり身近にあった方が子どもたちにとってはありがたいのではないかと思い提案させてもらった。